



ほっとハート東出雲学園 意東小学校だより

いとうっ子

令和7年度
松江市立意東小学校
令和8年2月20日
文責 古藤

意東小HP



最後の授業公開日～1年間の成果を披露～

今年もうないかなと思っていた矢先の大雪に、こどもたちも驚いたことと
思います。学校では、通学路の安全を第一に考え、2日間の臨時休校の措置を
とらせていただきました。ご家庭の皆さんには急な対応をお願いしたにもかか
わらず、ご理解とご協力いただき、心よりお礼申
しあげます。



また、13日(金)は、今年度最後の授業公開日
ということで、たくさんの方にお越しいただきま
した。これもまた雪による校庭のコンディション
不良に伴って、徒歩等での来校のお願いをしたところ、たくさんの方にご協力いただき、あ
りがとうございました。

さて当日は、低中学年は発表会を、高学年は高学年らしく落ち着いて考える学習を中心に
見ていただきました。それぞれの教室で、この1年の成長を感じ取っていただけたのではな
いでしょうか。

ふとカレンダーを見ると2月もう終わりが見えてきました。3学期もあとひと月です。
学習の総まとめの時期となりますが、ひとりひとり慌てることなく、しっかりと総仕上げを
していってほしいと思います。



6年薬物乱用防止教室～学校薬剤師さんの仕事～

2月12日、6年教室で薬物乱用防止教室を行いました。最近新聞や
ニュースでも取り上げられることが多くなってきている「薬物」につい
て、学校薬剤師の坂根さんのお話を聞きました。日頃から「薬品」を取
り扱う坂根さんは、「使い方を間違えると『薬品』が『薬物』に変わる。
そうすると自分の体も人生も、さらに家族の生活や人生も壊してしまう」
というお話をされました。スライドを見ながら説明を聞いていたこども
たちも、いつも以上に真剣な目をしていました。



話の最後に、学校薬剤師の仕事についてのお話もしてくださいました。
薬剤師本来の仕事である調剤の他に、学校の水道水やプール水の管理、
教室内の空気の検査など、安全な学校環境を守るのが学校薬剤師の仕事なのだそうです。

「こどもたちが、本当に真剣に聴いてくれてうれしかったです。来年もぜひ来たいと思います。」

「でも地元の薬剤師って減っているんですよ。もしこの中から薬剤師をめざす人がいてくれたらうれしいです。」
と帰り際におっしゃってられました。

本物に触れる～松江市音楽協会「ひるやすみコンサート」～

1月29日の昼休み、松江市音楽協会の「ひるやすみコンサート」が開
かれました。バイオリンとビオラなど5人の方がいらっしゃって、ジブ
リのメドレーや童謡などなじみ



のある曲を、本物の演奏で聴か
せてくださいました。このよ
うな生の楽器の音を聴く機会
はこどもたちもそう多くはな
いと思うのですが、それを「ひるやす
み」という短く自由な時間に、気軽に聴くことができるというのが
とてもうれしかったです。本物がとても近くに感じました。



残念！なわとび集会中止

今年、たてわり班が一堂に会して8の字飛びにチャレンジする予定だった『なわとび集会』が先般の大雪による臨時休校とインフルエンザの蔓延防止のため、中止となりました。違う学年の子どもたちが一つになって声を掛け合い、目標に向かって跳ぶ姿は、いつ見ても感動します。そんな姿を見ることができず、残念です。ただ、体育の時間や休憩時間には、短縄に励む子どもたちの姿もたくさんあって、冬の体力づくりは進んでいます。

最後のクラブ活動

年間7回のクラブ活動が終わりました。最後の1月28日は、どのクラブでも締めくくりの活動に取り組みました。クラブ活動の目的は、「好きなことを通じて、仲間と協力し、自分たちの力で取り組むこと」です。自分たちで計画して、楽しむ活動は、学校全体でもそう多くありませんが、子どもたちにとってとても大事な時間だと考えています。来年度も大事にしてほしいと思います。



本の世界に浸るために～今年度の読書活動を振り返って～

意東小学校では、読書好きな子どもになってくれることを願って、読書活動に力を入れています。「朝読書」や学級ごとに設定した「選書の時間（本の借り換え）」「にじいろドロップさんや教職員による読み聞かせ」「図書委員会による読み聞かせ」、そして学年を越えて読み聞かせを楽しむ「ペア読書」など、様々な取り組みをしているのですが、読書習慣の定着は十分とはいえません。

そこで、来年度に向けて、次のようなことを重点に改めて取り組んでいきたいと思っています。

- 「行きたくなる」図書館・環境づくり
- 本に出会うきっかけとなるイベントやゲームづくり
- ペア読書やいろいろな人の読み聞かせなどコミュニケーションを大事にした読書
- 日常のなかの「読書タイム」の確保



これらの中には、今年度取り組んでいることもありませんが、もう一度見直していきたいと考えています。

ただ、子どもの読書習慣の定着には、「**おとなが楽しむ姿を見せること**」も大切です。子どもは周囲のおとなの背中をよく見えています。私たちが「この本、おもしろかったよ!」と笑顔で話したり、自分自身が楽しそうに本を読んでいる姿を見せたり、教室や部屋に読みかけの本を置いたりしておくだけでもいいかもしれません。もしかしたら、それが一番の近道なのかもしれませんね。

学校運営協議会委員の皆さんのご意見

- ・自学ノートコンテストはよい取組だと思う。コースを自己決定できるところがよく、モチベーションの向上にもつながる。
- ・書き取り会、計算会の取組は、親も一緒に取り組んだり見直したりできて、ありがたい。
- ・日々の行動、がんばりを認めることが大切。
- ・教員のグッドモデルを継続してほしい。
- ・教員が肯定的評価を積極的に発信することで、児童の視野が広がる。
- ・これから全学年1クラスになっていく。互いの良さを認め合えることは、とても大切なことだと思う。
- ・小学校に上がる前の生活習慣が大切なので、もっと保幼小の連携を図ってほしい。
- ・「早く起きる」ことをがんばらせたい。
- ・ゲームやスマホが脳に与える影響を、知識として児童に学ばせてはどうか。保健日より等も活用して、積極的に発信をしてほしい。
- ・公民館がないことが活動に影響している。地域コーディネーターとの積極的な連携をしてほしい。
- ・地域の伝統を担う次世代がないことが、地域の課題となっている。大人になってから価値がわかるふるさと学習を大切にしてほしい。

次年度に向けての改善策・方向性（今年度末の教職員の振り返りから一部抜粋したものです）

- ・「目的」「テーマ」を明確にし、最後に振り返りを書く等、ノート指導を行ったうえで、自学ノートに継続して取り組んでいく。あわせて、自学ノート選手権など、自学ノートを日常的に見合う場を設定する。
- ・学習で使う用語を大事し、最後まで発言を言い切る指導を続ける。
- ・基礎基本の定着の1つとして、漢字・計算会や漢字、計算ウィークなどを設ける。
- ・タブレットの各学年の目標を見直し、低学年は写真撮影などの基礎的な操作、中学年はタイピングなどの発展的な操作など、学年に応じた縦の系統性を意識し、計画、実行していく。
- ・各学年の国語の教科書に出てくる本を必読書として、読み切る。
- ・読書週間に合わせて、「わたしのおすすめ本の紹介」などを行う。
- ・そうじの反省会の中で、班長がそうじをがんばっていた児童の紹介をすることを継続する。
- ・他の活動についても、がんばりカードを放送等で紹介する機会を設定し、自他のがんばりを広げていく。
- ・委員会の取組について、「じぶんごと」になるように、学級でも合わせて働きかけや評価をしていく。
- ・基本的な生活習慣の定着に向け、生活リズムチェックに計画的・定期的に取り組む。

3月の行事予定

4	水	委員会⑧ 登校指導	16	月	卒業式準備
5	木	地区児童会 集団下校(14:50) SC 来校	17	火	卒業式
6	金	大掃除 全校5時間授業 6年図書返却完了日	19	木	給食最終日(全校5時間授業)
			20	金	(祝)春分の日
9	月	SC 来校 登校班子チェック(11日まで)	23	月	全校3時間授業(11:30下校)
13	金	卒業式リハーサル	24	火	修了式 離任式
		5年以下図書返却完了日			

※3月は、一部時間割の変更に伴って、下校時刻も変更しています。詳しくは、「3月月間予定表」をご覧ください。